

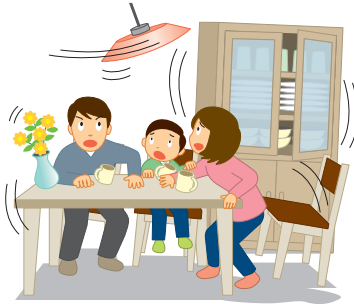
地震・津波発生時の行動

地震発生時には、あわてずに、まず身の安全を確保しましょう。海岸付近で強い揺れを感じた場合は、すぐに津波が来襲することがありますので、津波警報や津波注意報の発表を待たず、ただちに高台などに避難してください。

地震発生！ 津波発生！

1 地震の揺れから身を守る

- 落ち着いて、自分の身を守る。
- 火の始末、ガスの元栓を閉める。
- ドアや窓を開けて、出口を確保する。



揺れがおさまってから、
落ち着いて行動しましょう



2 津波警報を待たずに、ただちに避難する

- 揺れがおさまったら、津波のおそれがある区域に居る人は、ただちに避難する。
- 「より遠く」ではなく「より高い場所」へ避難する。
- くずれたブロック塀や散乱したガラスなどに注意。
- できる範囲で、地域の避難行動要支援者の手助けを。



避難が間に合わないときは
近くの津波避難ビルへ！



3 津波情報を入手する

- 安全な場所に移動してから、防災無線やラジオなどで情報を確認する。
- 間違った情報や、うわさ、デマなどに惑わされないように注意する。
- 安全が確認されるまで、自宅・沿岸部には戻らない。

(東日本大震災の際、一旦避難場所に避難していながら、自宅等に戻ったところで被災したというケースもあります。)

情報の収集は
安全な場所に移動してから



4 避難施設や自宅へ移動する

- 津波警報が解除されたら、一時避難した場所から、避難施設などに移動し、家族と合流する。
- 避難生活では、集団生活のルールを守り、助け合いの心を持つ。



緊急地震速報を見聞きしたら…

「緊急地震速報」は、最大震度が5弱以上と予想された場合に、震度4以上が予想される地域を対象に報道機関や防災機関からみなさんに伝えられます。この「緊急地震速報」を見聞きしてから数秒～数十秒後に強い揺れが始まりますので、この間に身を守るための行動をとる必要があります。ただし、震源域に近い地域では「緊急地震速報」が強い揺れに間に合わないことがあります。



液状化現象とは…

地下水位が高く、ゆるく堆積した砂地盤などが、地震により激しく揺らされると、土の粒子が水と混ざり合って一時的に液体のようにやわらかくなります。これを液状化現象といいます。



地震前は、砂などの粒がお互いにくっついて、その間に水がある状態です。

地震により、砂の粒同士が離れて、水に浮いた状態になります。

地震後、しばらくすると、バラバラになった砂の粒が沈んで、地面に水が出てきます。

液状化が起こると発生する被害

- ① 地盤の支持力が低下することにより発生する、建物等の沈下や傾斜。
- ② 噴砂(水と砂が地中から噴き上げてくる現象)などによる被害。
- ③ 地下に埋設された水道管・ガス管・電線の損傷による、ライフラインの寸断。